

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

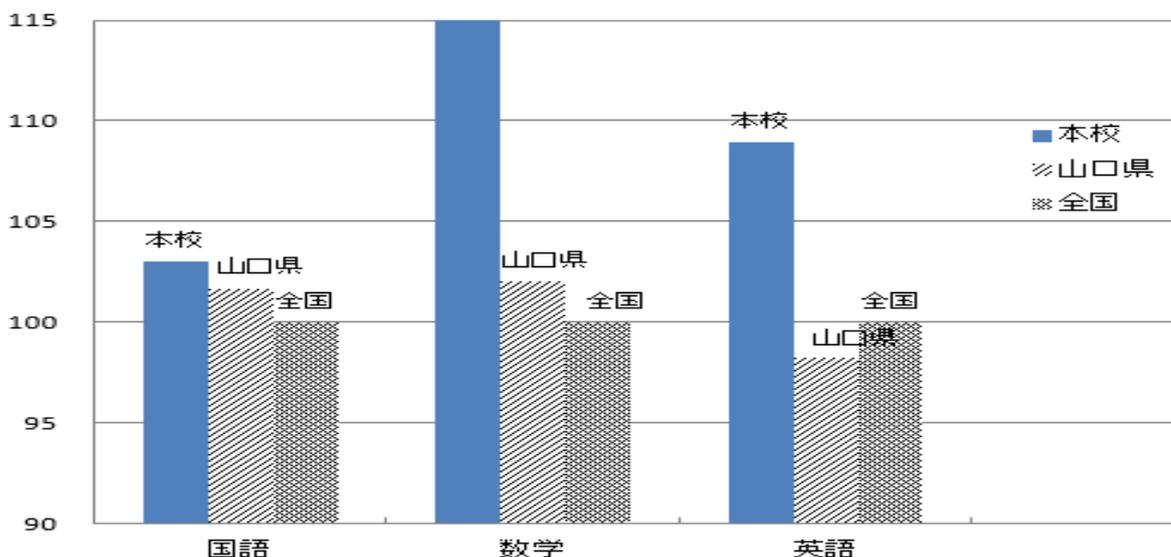
周南市立住吉中学校

平成31年4月18日(木)に3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、結果の分析を行い、課題解決に向けて取り組んでいます。

《教科に関する結果》

《 教科ごとの結果 》	
<p>○国語</p> <p>「話すこと・聞くこと」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本 校 県平均を若干上回っています。</p> <p>「読むこと」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本 校 県平均を若干上回っています。</p>	<p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本 校 県平均を上回っています。</p> <p>「書くこと」 山口県 全国平均を上回っています。 本 校 県平均を若干下回っています。</p>
<p>○数学</p> <p>「数と式」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本 校 県平均を上回っています。</p> <p>「図形」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本 校 県平均を上回っています。</p>	<p>「関数」 山口県 全国平均を上回っています。 本 校 県平均を上回っています。</p> <p>「資料の活用」 山口県 全国平均を若干上回っています。 本 校 県平均を上回っています。</p>
<p>○英語</p> <p>「聞くこと」 山口県 全国平均を若干下回っています。 本 校 県平均を上回っています。</p> <p>「読むこと」 山口県 全国平均とほぼ同じです。 本 校 県平均を上回っています。</p>	<p>「書くこと」 山口県 全国平均を若干下回っています。 本 校 県平均を上回っています。</p>

全国を100としたときの県・本校の正答率



〈国語〉

○できていること

- ・文章を読み、設問の解答として適切なものを選択肢から選ぶこと
- ・文章中の空欄を、前後関係から推測して補うこと
- ・封筒の宛先の「名前」「住所」を適切に書くこと

△努力を要すること

- ・自分の考えを文章で表現すること
- ・条件に合わせて、適切に文章を書くこと

「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、県平均・全国平均を上回り、問題文から質問の意図を的確に読み取って、適切に解答を選択する力がついていることがわかります。授業において、キーワードに注目して文章を読解したり、文章の主旨を読み取ったりする学習に取り組んできた成果がうかがえます。

封筒に宛先の「名前」と「住所」を「楷書」で書く設問において、県平均や全国平均より正答率が高く、校外学習などに際して「礼状」を書く機会を設け、手紙の書き方を学んで実践してきたことが奏功したと考えられます。

1年時から課題であった「書くこと」については、自分の考えを書く機会を多く設けたり、問題に対する答えを小グループで考えたものを全体で添削したりと、授業で意識的に取り組んできましたが、無回答率の高さからも、苦手意識が克服されていないことがわかります。対策として、条件付きの短作文を書く機会と、新聞コラムなどに対する感想文を書く機会をそれぞれ月1回設けます。また、書いた後、小グループで添削する活動を行うことにより、文章を書いたり読んだりすることを楽しんだり、注意すべきポイントを共有したりできるようにしたいと思います。

〈数学〉

○できていること

- ・数と式、図形、資料の活用において、①知識・理解 ②技能 ③見方・考え方

△努力を要すること

- ・一次関数のグラフの座標を事象に即して解釈する
- ・問題解決の方法を数学的に説明する。(一次関数)

知識・理解、技能の正答率が高く、問題データベースを利用して、学び直しの機会を増やしたり、毎時間小テストを行ったりしている成果が現れたと考えられます。記述式の問題に関して、授業でのグループ活動を通して数学の言語活動を行っていることにより、正答率が高くなってきています。

また、無回答率が低く、答えを導こうとする姿勢も見られました。しかし、記述式で答える問題に関しては、他より正答率、無回答率が高く、授業での学び直しの機会を設けたり、問題解決の方法を記述・説明したりする活動を取り入れていきたいと思っています。

〈英語科〉

○できていること

- ・英語の会話やスピーチを聞き、それについて説明している適切な絵を選ぶこと
- ・英語の説明文を読んで、適切な語や英文を選ぶこと
- ・将来の夢や、やってみたいことなど、自分のことについて英語で話すこと

△努力を要すること

- ・英語のスピーチを聞く、もしくは読んで、それに対する自分の考えやアドバイスを書くこと
- ・絵を見て、それについて英語で説明すること
- ・相手の話に対して、即興で質問をして会話を続けていくこと

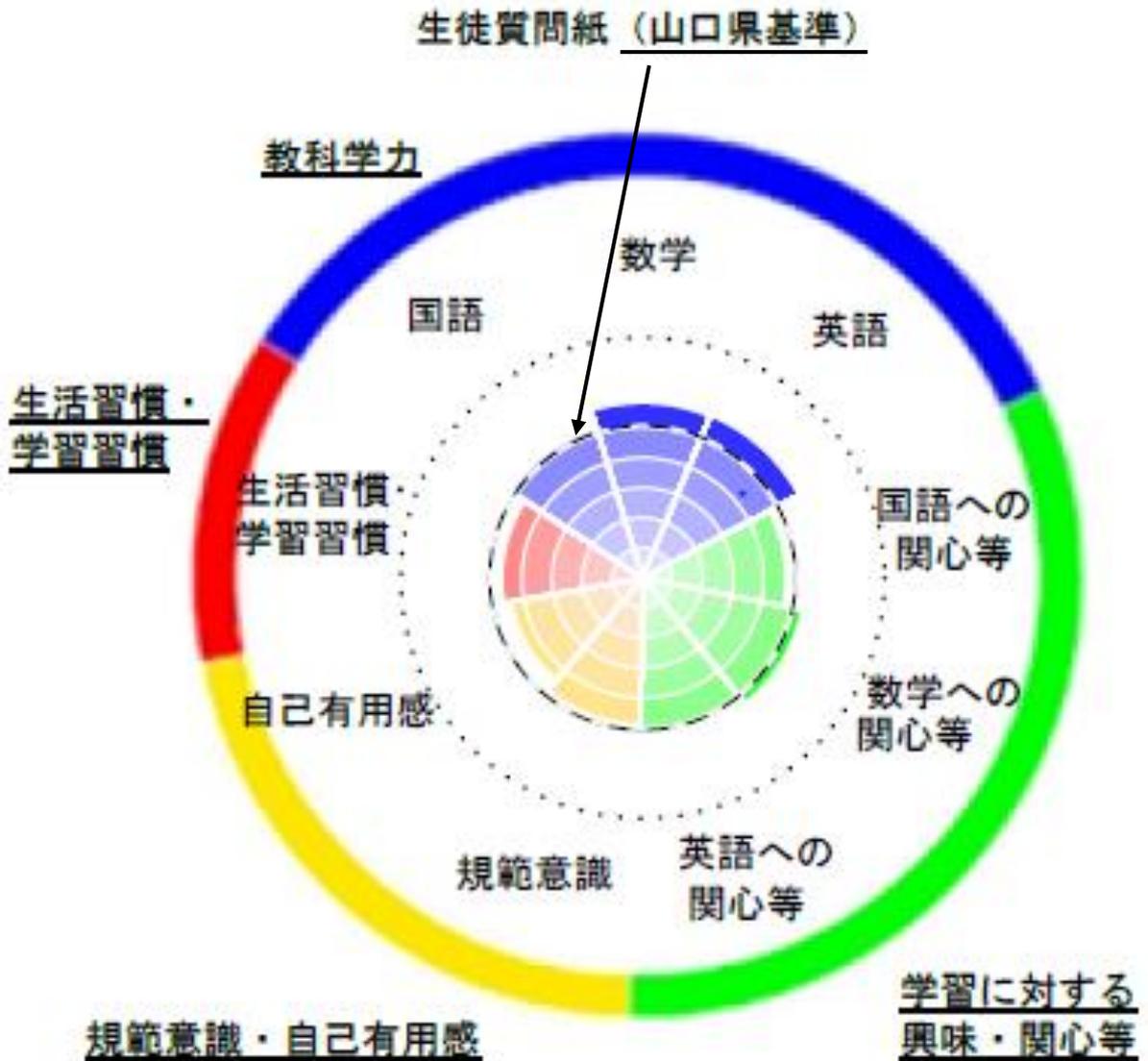
普段の英語の授業で、活動の説明や指示を英語で行うようにしているため、英語を聞くことや読むことに対する抵抗は少ないように思います。そのため、聞くことに関しては県平均や全国平均を大きく上回っていました。

毎時間の授業の始めに行っている活動（帯活動）でインプットしたものを、その後授業でアウトプットする機会を多く取り入れているため、自分のことについて英語で話すことに慣れており、全国平均を大きく上回っていました。授業で生徒同士のやりとりを中心とした活動が多く、英語を話す力が身につけてきているようです。

一方で、話すときに視覚的補助教材を活用しながら前準備をしていることが多いため、今後は、即興性に重点を置いた課題を用意し、正確性や対応力を身に付けられるような活動も取り入れたいと思います。

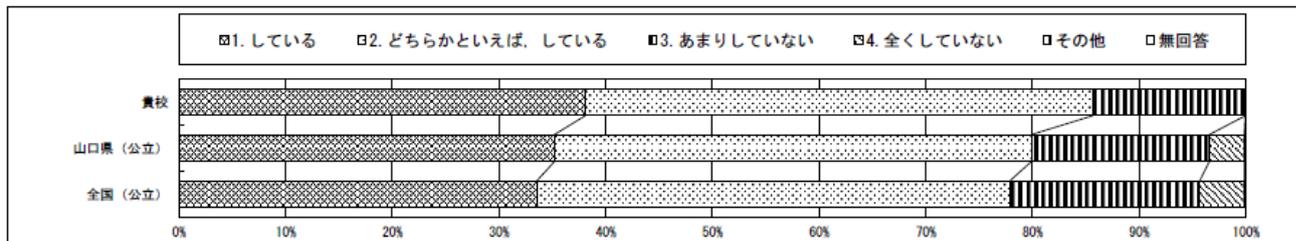
《生徒質問紙に関する結果》

この調査には、学力と生活がどのように関わっているかを調査する「質問紙」があります。得点や平均点に注目しがちですが、それを支える生徒の意識や習慣を「質問紙」から見てみましょう。

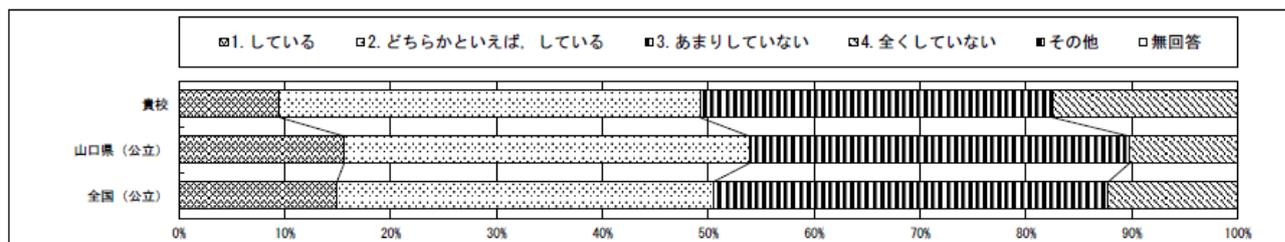


※各グラフは、上から「本校」「山口県」「全国」となっています。

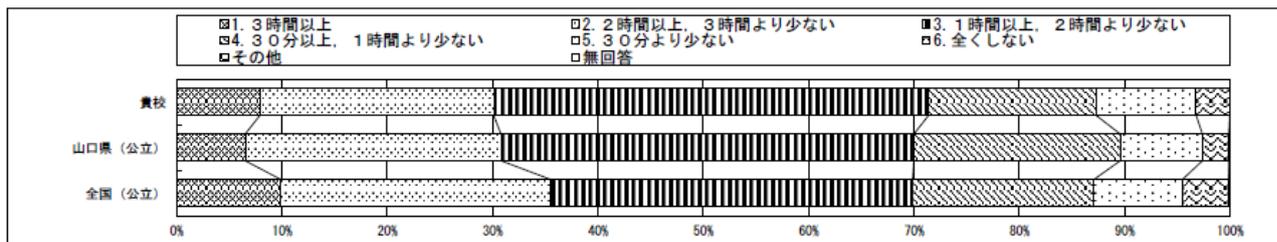
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

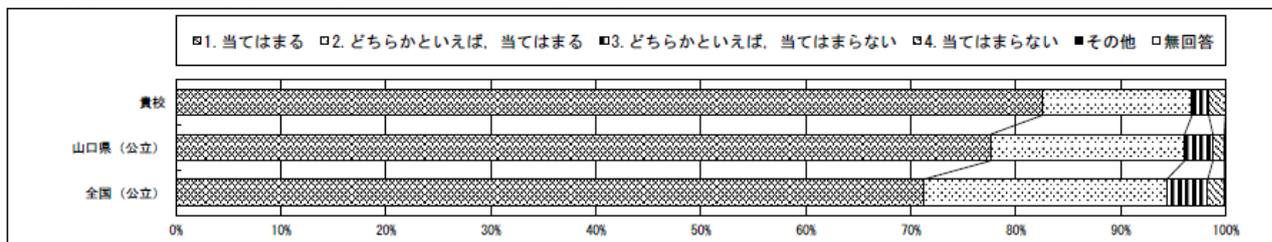


学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）

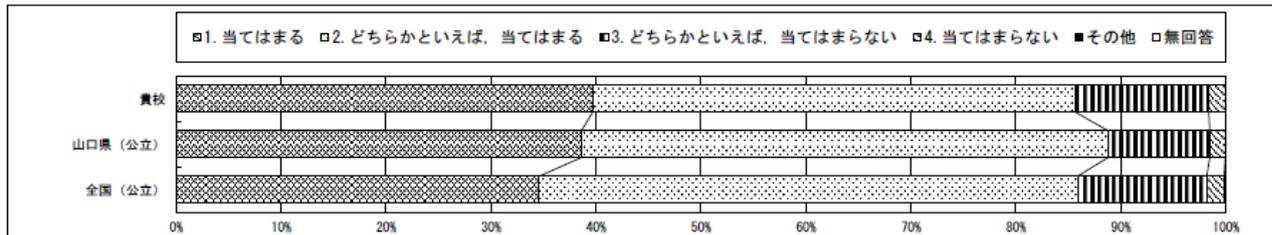


○積極的に学習する生徒の割合はあまり高くないものの、基本的な生活習慣は身につけていることがわかります。

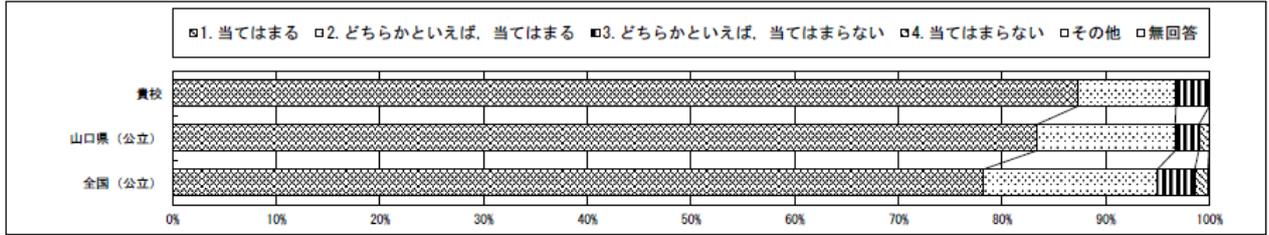
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



人が困っているときは、進んで助けていますか。

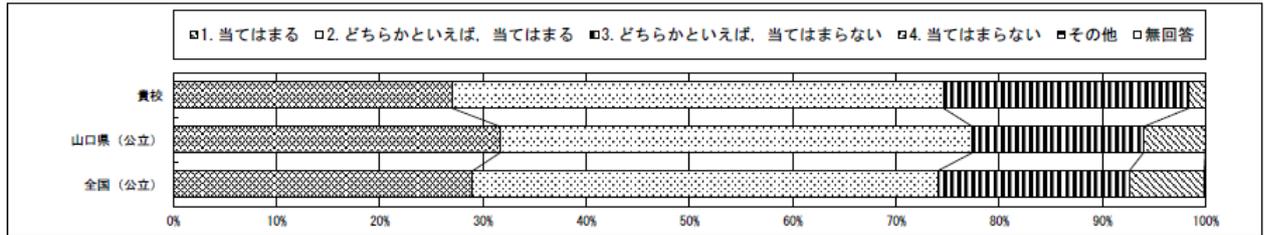


いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

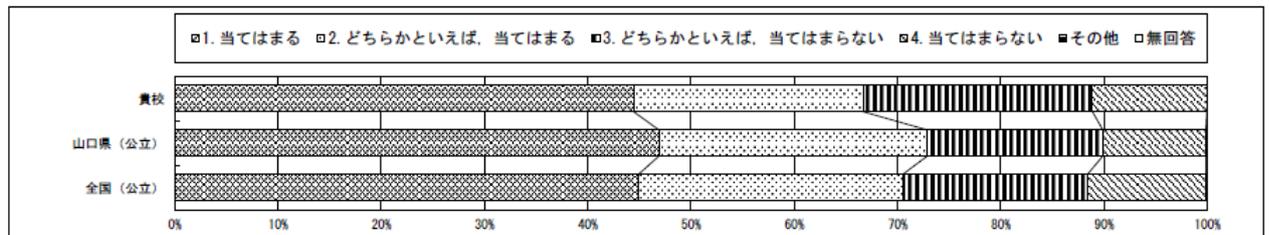


○思いやりのある、温かい集団であることがわかります。

自分には、よいところがあると思いますか。

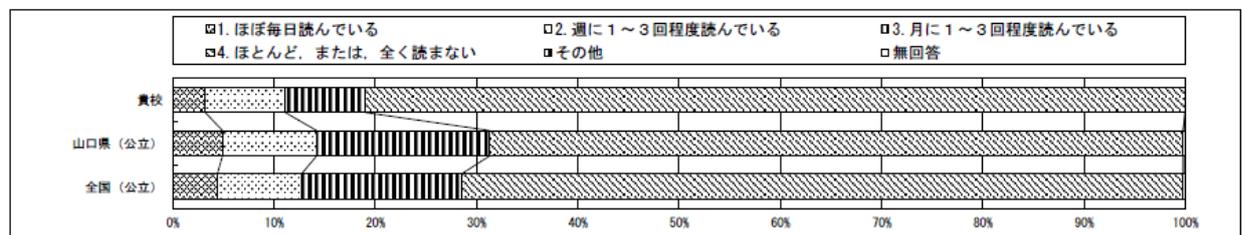


将来の夢や目標をもっていますか。

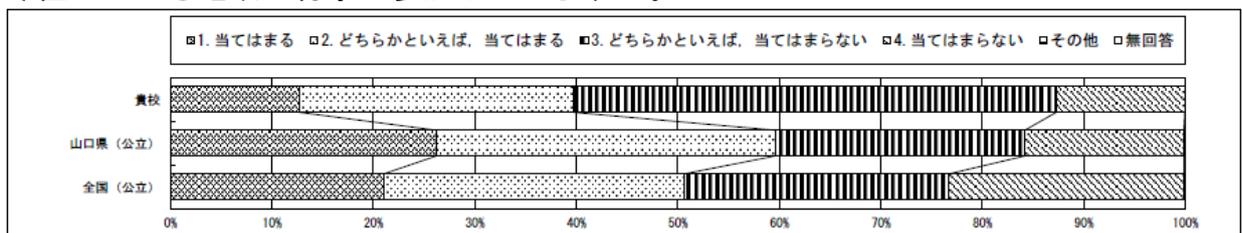


○「誰かのために」と思う一方で、自分の「今」に自信をもてない生徒も多いようです。

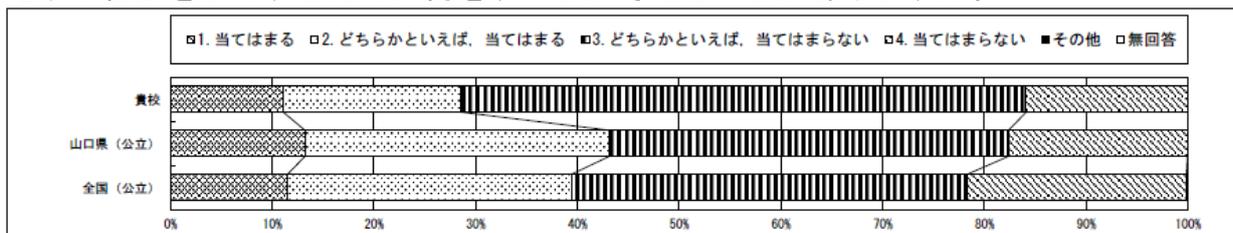
新聞を読んでいますか。



今住んでいる地域の行事に参加していますか。

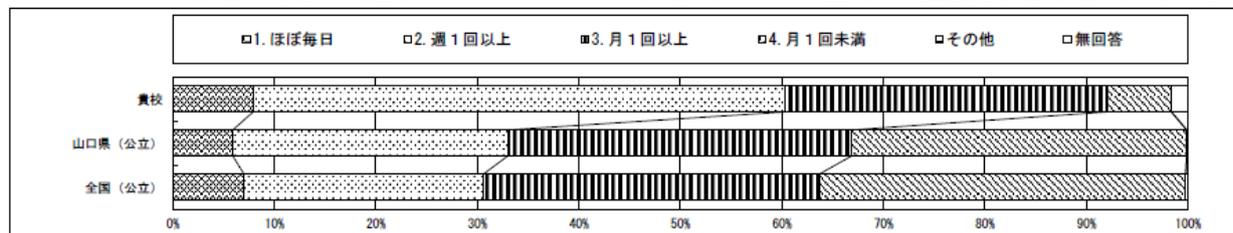


地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。



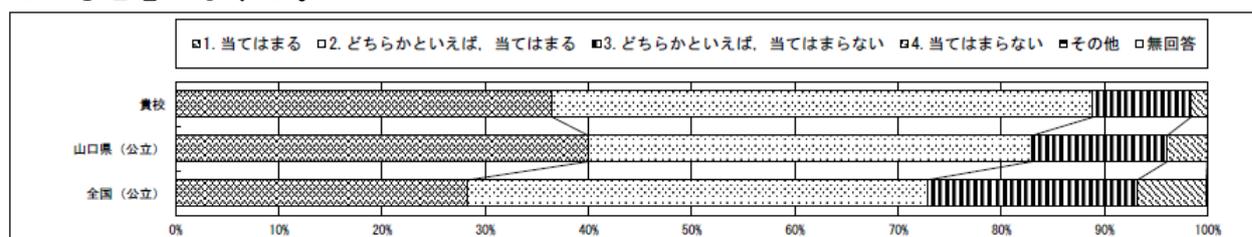
○「人の役に立ちたい」という気持ちはあるものの、地域や社会の現状を知り、実際に行動するまでには至っていない生徒が多いようです。今後、地域や社会に目を向ける機会を増やすことにより、「人の役に立ちたい」という思いを具体的な活動に結びつけることができれば、役に立つことができた喜びから、自己肯定感もさらに高まっていくと考えられます。

1, 2年生のときに受けた授業でコンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。

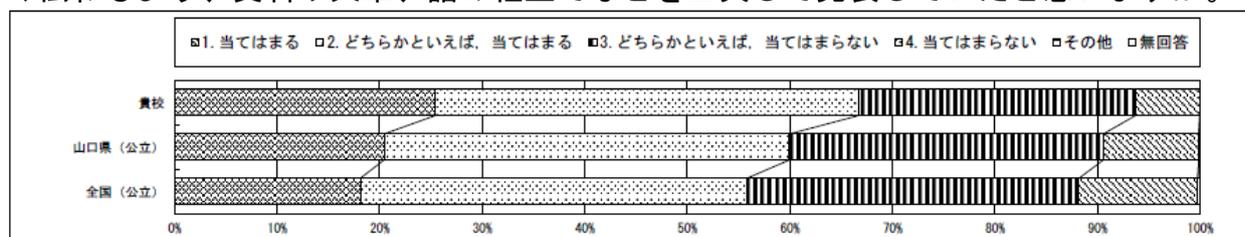


○各教科の授業においてタブレット端末を使用したり、総合的な学習の時間の調べ学習などにおいてPCを使用したりするなど、ICTを使用する機会が増えています。

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

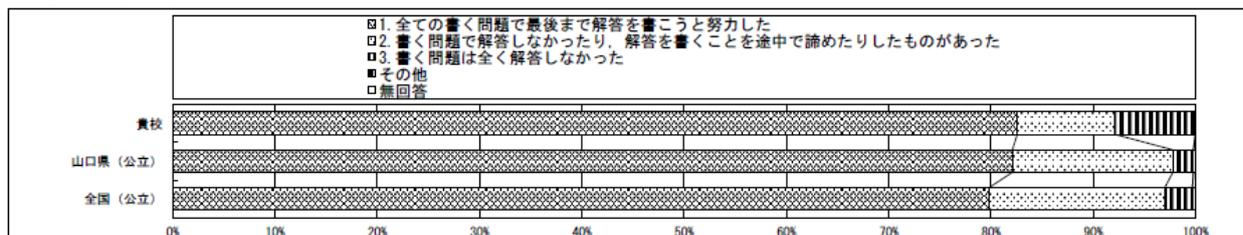


1, 2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

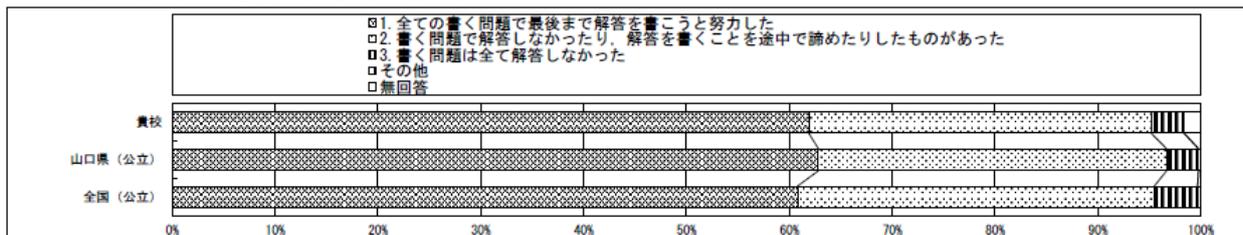


○各教科や道徳の授業において、「話し合い活動」を積極的に取り入れています。自分の考えを的確に伝える力や、相手の考えをしっかりと聞く力を高め、多様な意見を聞くことを通じて、考えや物事に対する理解を深めることを目指してきました。

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。



今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。どのように解答しましたか。



○前述の「話し合い活動」の成果として「話す力」は伸びてきましたが、「書く力」については、自信をもてない生徒への対応が必要です。教科だけでなく、学校活動のさまざまな場面で「書いて表現する機会」を設け、「書く力」を意識的に鍛えていきます。

☆ 生徒質問紙の項目から見える生徒の意識や習慣には、これから生徒の力を伸ばしていくための手掛かりがたくさんあります。本校生徒は、「人の役に立ちたい」と願い、進んで人を助けることのできる温かさをもっています。また、授業をはじめとする諸活動に、素直に積極的に取り組み、力をつけてきました。しかし、自分自身を肯定し、社会のためにどう自分を役立てていくかを考えるには至っていないことがわかりました。

今後、幅広い情報に触れ、多様な人々と交流することを通して視野を広げ、具体的に行動する体験を重ねて、さらに自信と意欲をもってそれぞれの未来に羽ばたいていけるよう、しっかりと支援していきたいと思います。

これからも地域・家庭・学校の緊密な連携のもとに教育活動を進めていけるよう、ご協力をお願いいたします。